

3月定例会議 振り返り事項

※各委員は委員長が定める期日までに、委員長にご提出ください。

※委員長は委員会内で協議を済ませ、議長に提出ください。

議員名 菊池 秀明

1 自らが所属する常任委員会で追跡調査すべきと考える政策・事務事業等

(1) 一般質問から

今回の一般質問では、再生可能エネルギー事業の立地に伴う農地利用や景観への影響、農振農用地の保全、地域資源を活用した循環型林業の推進など、土地利用と地域資源の活用に関する論点が提起された。

特に、再生可能エネルギー事業については、国の制度やエネルギー政策との関係も踏まえつつ、地域環境や農業振興との調和をどのように図るかが重要な課題であると考えられる。

これらの事項については、本町の土地利用方針や産業振興政策との整合性を確認しながら、総務経済常任委員会として継続的に状況を把握し、必要に応じて政策的な整理を行っていく必要がある。

(2) 質疑（討論）等から

予算審査においては、観光振興、森林資源の活用、地域産業支援などに関する事業について質疑が行われた。

特に、新嵐山スカイパーク再生事業については、今後の運営体制や収支見通しなど、事業の持続性に関する論点が示されたほか、町観光・特産品普及事業については、事業の効果や地域経済への波及についての検証の必要性が指摘された。

また、森林資源の活用に関連する取り組みとして、Jクレジット制度を活用した収益確保の可能性も示されており、森林整備や地域資源循環の観点からも今後の動向を把握する必要がある。

これらの事業については、単年度の予算審査にとどまらず、事業効果や持続性の観点から継続的な追跡調査を行うことが重要であると考えます。

2 他の常任委員会に追跡調査を依頼したい政策・事務事業等

(1) 一般質問から

今回の一般質問では、民生委員の担い手不足による地域の見守り・相談支援体制への影響や、その確保に向けた取組について課題が提起された。地域福祉を支える重要なテーマであることから、厚生文教常任委員会において継続的な調査が必要と考える。

また、義務教育に係る保護者負担の実態や給食費無償化など教育費負担の軽減に関する議論も行われており、今後の取組の方向性について、厚生文教常任委員会での継続的な検討が望まれる。

(2) 質疑（討論）等から

教育分野においては、児童生徒支援事業について、事業の成果や今後の展開についての議論が行われた。

この事業は、児童生徒の健全育成や地域との連携を図る上でも重要な取り組みであり、

事業効果の検証や今後の方向性について、厚生文教常任委員会において引き続き検討が行われることが望ましい。

3 議会運営全般に関する検討（定例会議を通じて、改善に向けて取り上げるべきもの）

今回の定例会議における予算審査では、各事務事業の目的や成果指標、事業効果に関する議論が多く見られた。

一方で、単年度の予算審査のみでは、事業の成果や継続性を十分に検証することが難しい面もあることから、議会としては、事務事業評価や実行計画との連動を図りながら、継続的に政策を検証する仕組みについて検討していく必要があると考える。

また、財政状況への関心が高まる中、議会としても財政指標や将来負担の状況を共有しながら、政策判断の基礎となる情報を整理していくことが重要である。

4 その他（定例会議を通じて、改善に向けて取り上げるべきもの、審議方法などで分からなかった点など）

今回の定例会議を通じて、物価高騰や社会情勢の変化など、自治体財政を取り巻く環境の不確実性が改めて認識された。

今後は、限られた財源の中で政策効果を最大化するためにも、事業の優先順位や財政の持続可能性を意識した政策議論が一層重要になると考えられる。

議会としても、町民への説明責任を果たす観点から、議会活動の内容や議論の経過について、分かりやすい情報発信に努めていくことが求められる。

3月定例会議 振り返り事項

※各委員は委員長が定める期日までに、委員長にご提出ください。

※委員長は委員会内で協議を済ませ、議長に提出ください。

議員名 正村紀美子

1 自らが所属する常任委員会で追跡調査すべきと考える政策・事務事業等
(1) 一般質問から R8は大型投資が重なっており、町財政への影響が懸念される状況にある。加えて、イン情勢の不透明さにより、エネルギー価格や物価動向を通じた各方面への影響も想定される。こうした中、総額が確定していないパーク PFI 事業費や、新嵐山再生事業において基本設計終了後に見込まれる具体的な事業費については、今後の財政運営に与える影響が大きい。これらを踏まえ、長期的な財政見通しとあわせて、議会として継続的に監視していく必要があると考える。
(2) 質疑（討論）等から
2 他の常任委員会に追跡調査を依頼したい政策・事務事業等
(1) 一般質問から
(2) 質疑（討論）等から
3 議会運営全般に関する検討（定例会議を通じて、改善に向けて取り上げるべきもの）
4 その他（定例会議を通じて、改善に向けて取り上げるべきもの、審議方法などで分 からなかった点など）
現在、一般質問は予算決算特別委員会の後に実施されているが、予算審議（決算審査）が先行することにより、本来一般質問で取り上げるべき内容（たとえば財政全般、維持管理費等にかかわることなど）が委員会において先に質疑されてしまい、結果として町の見解について議論しづらい状況が生じている。 また、総論や町の基本的な考え方を十分に議論しないまま予算審議に入るとは、論点の整理という点でも課題があると考えます。 こうした状況を踏まえ、予算および決算を審議審査する3月および9月の議会においては、初日開会后に一般質問を実施し、その後に予算決算特別委員会を開催する日程へ見直すことを提案したい。

3月定例会議 振り返り事項

*各委員は委員長が定める期日までに、委員長にご提出ください。

*委員長は委員会内で協議を済ませ、議長に提出ください。

伊藤 稔

1 自らが所属する常任委員会で追跡調査すべきと考える政策・事務事業等
(1) 一般質問から <u>P-PFI事業(芽室公園、新嵐山)の総事業費と民間負担との推移の見える化と利用者の推移</u>
(2) 質疑(討論)等から
2 他の常任委員会に追跡調査を依頼したい政策・事務事業等
(1) 一般質問から <u>実効性のある民生委員の欠員対策</u>
(2) 質疑(討論)等から
3 議会運営全般に関する検討(定例会議を通じて、改善に向けて取り上げるべきもの)
4 その他(定例会議を通じて、改善に向けて取り上げるべきもの、審議方法などで分からなかった点など)